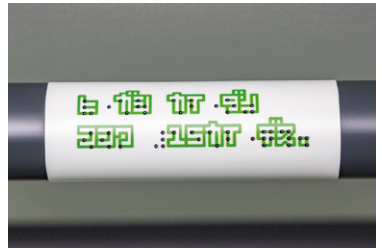


点字にカタカナやアルファベットを重ね合わせることで、目の不自由な人も視覚に障害のない人も書かれてあることが理解できる点字フォント「ブレイルノイエ」を採用した渋谷区役所本庁舎の案内板。

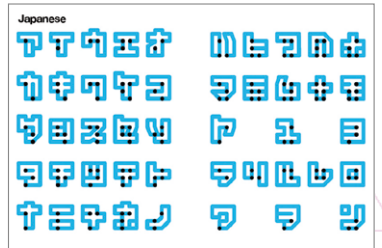
Who is this person?

新しいコミュニケーションツールを創出し、人と人の「つながり」をデザインする発明家

1993年東京都生まれ。東京学芸大学附属高校卒業。慶應義塾大学環境情報学部卒業。大手広告代理店にプランナーとして在職中の2017年、点字と文字を組み合わせることで、目でも指でも読むことができるユニバーサルな書体「ブレイルノイエ」を発明。19年には、盲ろう者（視覚と聴覚の両方に障害のある人）のコミュニケーション手段である「触手話」をベースにしたコミュニケーションゲーム「LINKAGE」を開発する。22年に「接点の発明家」として独立し、年齢や国籍の違い、そして障害の有無といった、人と人のある境界を越え、多様で異質な人々がつながるための新しいコミュニケーションの方法やツールを追究している。



渋谷区役所本庁舎の階段の手すり。「ヒガン カイダン ココワ 15 カイ デス。」

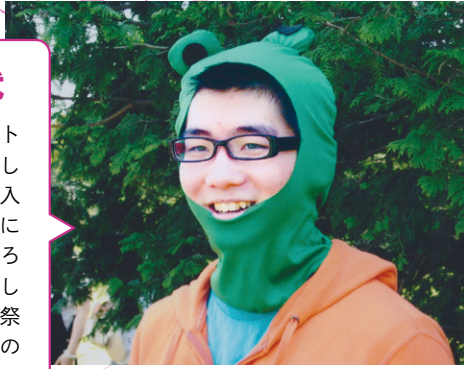


文字（カタカナ、英数字）と点字が一体化し、目でも指でも読めるユニバーサルな書体。

目でも指でも読める点字
「ブレイルノイエ」に見る
みんながつながる未来
発明家 高橋鴻介

つながりのない人同士を 発明でつなげたい

「高橋くん、点字が読めると、暗闇でも読書ができるよ」。視覚障害者の方にそう言われて、びっくりしました。そうか、僕が点字を読めるようになっても構わないんだ！ その言葉がきっかけで点字に興味を持ち、「ブレイルノイエ」の発明につながりました。点



私の高校時代

小学生のころからロボット製作に取り組んでいました。それもあって、高校入学当初は何となく「理系に進んで、エンジニアになるのかな」と考えていました。写真は、高校の文化祭でバンド演奏した時のものです。

字の隣に墨字を置いて書いてあることは伝わるけれど、点字と文字を組み合わせることで、「この点字は、こんな意味だったんだ」と、より点字に興味を持つ人が多いです。一緒にすると、混ぜることで、視覚障害者と晴眼者の距離が近づくような感覚になるのではないのでしょうか。別々にではなく、あたり前のように一緒にある。そんな場づくりに、「ブレイルノイエ」は貢献できているのかなと思います。

ある時、視覚障害者の友人が、僕にこんなことを言いました。「障害のある人と初めて会った」とよく言われる。世の中にはたくさんの障害者がいるのに。それは障害のある人を見たことはあっても、かかわったことがないということの意味しているのだと思います。相手とかかわりを持ち、その人のことを知る一番簡単な方法は、友達になることです。友達になれば、相手

がどんな世界を生きて、どんな楽しさを味わい、どんな困りごとに向き合っているのかが分かります。そこで僕は、つながりがなかった視覚障害者と同じ場を共有するツールの1つとして「ブレイルノイエ」を、盲ろう者と一緒に遊べるゲームとして「LINKAGE」を開発したのです。

ある高校で生徒と考えた 「未来の学校」の姿

高校時代で忘れられないのが、情報の授業でのCM制作です。ほかの教科は、時間をかけて勉強すれば正解の出る課題が多かったのですが、その授業では、「これではメッセージが伝わらない」などと先生からフィードバックされ、どうすればよいかを自分で考えることを繰り返すのです。答えが1つではない学びを経験し、世界が広がりました。それがきっかけでデザインに興味を湧き、進学先を決めました。

高校時代には、世界を広げてくれるような大人と、たくさん出会うことが大切です。先生以外の社会人にもたくさん出会った方がいい。異業種の人々が同じ空間を共有し、働く「コワーキング」が世界中に広まっていますが、学校も同じように社会に開かれ、いろいろな大人が学校に出入りして高校生と話すようになれば、高校生も社会人もお互いに刺激し合えると思います。

先日、九州のある公立高校で、「未来の学校をデザインしよう」をテーマに高校生と対話しました。一番印象に残ったアイデアが、「職員会議に生徒が参加する」です。普段の職員会議に

生徒が交ざり、話を聞くだけでもいいし、意見を言ってもいい。先生と生徒と一緒に学校について考える時間には、大きな価値があるはずです。

1人の生徒から、「どうすればアイデアが独り善がりなものにならないか」と尋ねられました。その問いに対して、僕はうまく答えられませんでした。僕が、一緒に悩んだ時間はとてもよい時間でした。どちらかが一方的に教えるのではなく、対等な関係で一緒に悩む。未来の学校で繰り返されるのは、そんな学びなのかもしれません。

お勧めの分掌

管理職

教務担当

進路担当

担任



※撮影協力/渋谷区役所